

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	鴻巣市			
提案事業名	賑わい創出交流拠点整備事業			
事業期間	令和2 年度	～	令和3 年度	
事業の必要性、目的	「食の提供」を切り口とした拠点を整備し、地元食材の活用による「農産物のブランド化」や食生活改善意識の向上による「健康生活の実践」を図り、地域の賑わい創出と地方創生の深化を目指す。			
成果指標	(成果を検証する指標) カフェの売上金額			
	(成果検証の具体的な方法) カフェ事業の収支報告により算出			
	(上記の指標を設定した理由) 事業効果として地産地消の推進、農産物のブランド化、健康寿命の延伸等を期待する中、継続した自立運営による効果の拡大を目指した指標をKPIとして設定するもの			
	(成果の目標値)			
	現状値 (R1年1月現在)	0円	目標値 (R3年3月時点)	100万円/月
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)	1万人	稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	市のホームページにより公開			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① 賑わい創出交流拠点施設整備事業	ハード カフェを中心とした拠点施設の改修に向けた実施設計を行う。	8,000
② 施設運営準備事業	ソフト 運営体制の構築に向け、産官学連携によるコンソーシアムの形成に向けた事業に取り組む。具体的には、セミナーやワークショップの開催、イベント等への出店等を実施する。	500
③	ハード ソフト 間接補	
④	ハード ソフト 間接補	
⑤	ハード ソフト 間接補	
⑥	ハード ソフト 間接補	
合計		8,500

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	施設機能を検討する上で、大学等の教育機関との連携により、ターゲットとする若者世代の意見を多く取り入れることが可能。 さらに、市内の農業生産者等との連携による6次産業化、ブランド化を育成する。
成果指標の達成見込み	施設周辺の定住人口規模、免許センター等の利用者マーケット等をみても達成の見込みは高い。